

Q 平成24年度の採用実績は？

A 平成23年度Ⅱ種試験合格者からの採用数は本省が51人、地方支分部局が11人となっています。また、女性職員の採用にも積極的であり、多くの職員は結婚、出産後も育児休業・部分休業等を利用してしながら仕事との両立を図っています。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所、やる気、可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 採用時の配属・勤務地は？

A 本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方局採用者は、採用された地方局に配属されます。過去3年間のⅡ種試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	本省採用者	地方局採用者	
		管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所
22年度	76(29)	32(11)	12(5)
23年度	60(21)	6(2)	3(0)
24年度	51(14)	11(4)	0(0)

★人数は各年度の国家公務員採用Ⅱ種試験合格者からの採用者数 ★カッコ内は女性の内数

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、おおむね、数年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望、適性に応じ、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修、昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で本省勤務となる職員は、入省後、内部部局の課、室において、係員、係長、課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務(例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など)を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、大臣官房やそれ以外の業務を担当する機会もあります。また、キャリア形成の過程で、地方機関の管理職として活躍する機会や、都道府県や市町村の幹部職員等として派遣されることもあります。この他、他府省等への出向、海外の在外公館勤務や留学の機会もあります。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。
平成16年4月には、本省庁舎内に、食堂を含む新しい施設が増設され福利厚生が更に充実しました。



本省庁舎内にある「総務省共済組合診療所(歯科・内科)」。急に歯が痛くなったり体調が悪くなったときでも安心です。



本省庁舎内には、ドラッグストアや、クリーニング店、コンビニエンスストア、各種飲食店などがあります。

本省庁舎内8階にある「総務省図書館」(国立国会図書館行政部門支部図書館)。多くの職員が、業務に必要な書籍をこちらで探したりします。特に法案の立法作業や法案改正作業を行う課室の方等が利用しています。



情報通信政策に関する総合的な調査・研究及び研修を行う「情報通信政策研究所」。情報通信政策研究所はIT戦略・情報通信政策に資する調査研究を行うとともに、放送・情報通信行政に従事する職員の研修機関として放送・情報通信分野に関する様々な研修を行い、人材の育成に取り組んでいます。



「統計研修所」は統計知識の普及と発達を目的とした専門研修機関。国及び地方公共団体等の職員を対象に多様な研修を実施しているほか、統計の総合的な研究も行われています。また、「日本統計年鑑」「世界の統計」などの総合統計書の編集・刊行も行っています。

